

全領域合同 研究交流会 平成30年度 後期第1回

10月9日(火)

13:00～

場所: 学際高等研究教育院
大セミナー室



ポスター発表 (13:00～13:50)

- 『高速ナノ電気化学顕微鏡による細胞膜リモデリングの経時評価』
－井田 大貴 (環境科学研究科/生命・環境領域)
- 『画像観測法を用いた気相分子クラスターイオン O₂⁺(H₂O) の光解離過程の研究』
－中島 祐司 (理学研究科/先端基礎科学領域)
- 『逃げるが勝ち : ミジンコの種内共存における休眠の役割』
－丸岡 奈津美 (生命科学研究科/生命・環境領域)
- 『分子骨格に基づく難水溶性薬物ナノ粒子の作製』
－谷田 恵太 (工学研究科/物質材料・エネルギー領域)
- 『小型淡水魚ゼブラフィッシュを用いた生体信号分子の位置情報の探索』
－柴田 剛明 (薬学研究科/生命・環境領域)
- 『過酸化脂質の解析で何がわかるか?』
－清水 直紀 (農学研究科/生命・環境領域)
- 『放射線帯電子が大气へ降下するプロセス』
－平井 あすか (理学研究科/先端基礎科学領域)

口頭発表 (14:00～15:00)

- 『オートファジーによる分解は、グルタミン飢餓により急速に促進される』
Glutamine starvation rapidly induces autophagic degradation
－朽津 芳彦 (生命科学研究科/生命・環境領域)
- 『“国菌” 麹菌の進化を探る ～真菌類(真核微生物)の進化のメカニズムとは?～』
Studies on evolution of *Aspergillus oryzae*, the national fungus in Japan
-What is the evolutionary mechanism of fungi? -
－井上 大志 (農学研究科/生命・環境領域)
- 『皮膚の健康への電気的アプローチ』
Electrical evaluation and control of skin health
－阿部 結奈 (工学研究科/生命・環境領域)

多様化・精密化する現代で私たちが直面する多くの問題には、様々な要因が複雑に絡み合っています。学問体系の枠組みにこだわらず、異なる研究分野同士が手を取り合って新たな学問領域を切り開き、種々の課題に立ち向かうことが必要です。特に学際科学フロンティア研究所の若手研究者と学際高等研究教育院の研究教育院生は、先陣を切って分野横断的な融合領域研究を推進することが求められます。

融合領域の創成には、複眼的・多角的な視点が不可欠です。この視点を養うために「全領域合同研究交流会」では、若手研究者と大学院生が自身の研究をわかりやすく紹介し、自然科学・人文社会科学の境界を越えた議論を行っています。参加者が各々の研究を見つめ直し、深め、広げる機会でもあります。

本交流会は、学際高等研究教育院の研究教育院生が中心となって運営しています。学際科学フロンティア研究所・学際高等研究教育院に所属する方はもちろん、東北大学のすべての研究者・大学院生・学部学生の参加を歓迎します。是非お気軽にご参加ください。

学際高等研究教育院生一同

次回予告

平成30年度後期第2回: 11月1日(木) 13:00～

詳細は決まり次第ホームページにてお知らせします。

http://www.fris.tohoku.ac.jp/feature/whole_area_info/

お問合せ

学際高等研究教育院 総合戦略研究教育企画室

022-795-5749 E-mail: senryaku@iie.tohoku.ac.jp

